

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ナノデス アクュロール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	ΔRG	0.060	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：アキュスロール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

PAPからピンとの距離 インチ

5

研磨剤

比較対照ボール：アキュスウィングX

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

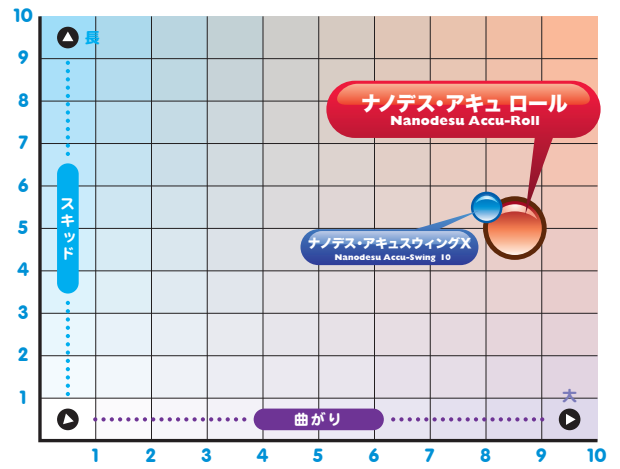
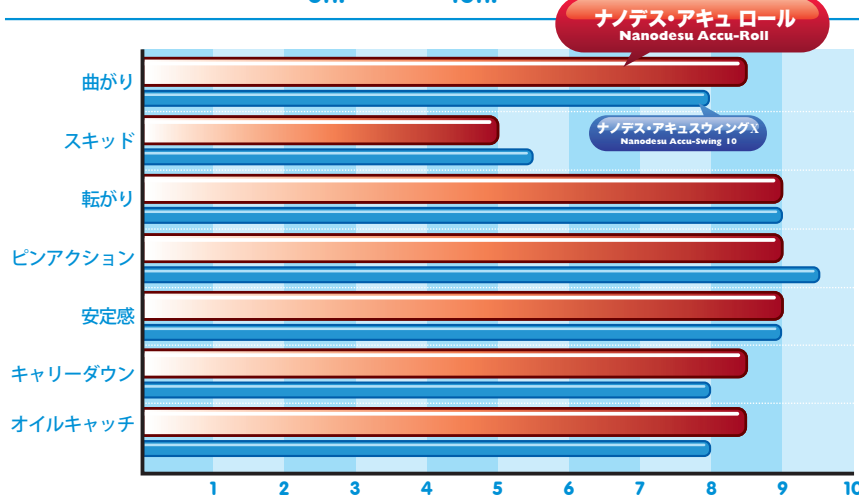
PAPからピンとの距離 インチ

5

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

2011年7月から始動したNanodesu Accu-Swingシリーズも前回のAccu-Swing10で完結し、2015年新たにAccu-RollとしてNanodesuブランドは再始動致します。注目なのはこのNew nanodesuの発表にあわせさまざまなテクノロジーが注がれており、そのパフォーマンスはネーミングにも託されています。Nanodesuは全く異なるカバーストック構成で従来のウレタン素材を使用していないのはご存知だと思います。その素材をこのAccu-Rollから数段階バージョンアップさせたカバーストックとして採用させています。今まで実現できなかったポリッシュ状態でのオイルキャッチやドライゾーンでの強いグリップ力を兼ね備える素材で、ポリッシュ状態では過去Nanodesuシリーズ最高値をはるかに上回ります。たぶん箱からボールを出し、手で触った感覚で皆さんも”そうであろう”と予想がつくぐらい今までと違うのが手触りから違うはず。そのカバーストックをもとにAccu-Rollを示すコアスペックは、転がり強いネジれを意識したRg:2.46、ΔRg:0.060、IntDeff:0.021といMost Heavyのポテンシャルを持ちます。ポリッシュ状態で吸い付くようなグリップ感のある新カバーストックと指から放たれた瞬間から転がり続け大きくネジれるコアテクノロジー。この相乗効果はNanodesu Accu-Rollのネーミングに託されたHookからRoll期に最大のパワーを出し、ピンヒットで最高のアクションが得られるよう名付けられました。

Nanodesuファンもこれから試そうと思っている方もこのボールはおススメです。

特記事項

Nanodesu最新作はAccu-Roll。国産Nanodesuシリーズに死角はありません。新素材がもたらすワンランク上の性能をその手でお試ください。